

Q
28

AIエコナビ(省エネナビ)とは、どんな機能なの？

A

汚れの量や食器の量、室内の温度をそれぞれ3つのセンサー*が検知し、自動的に節水・省エネ・時短で運転する機能です。

ECONAVI

省エネナビ

AIエコナビ(省エネナビ*)。それは、人それぞれのくらしや使い方に合わせて、家電自らがムダを見つけ、省エネすることで、エコをナビゲートしていくというパナソニックの独自技術。人のいるところを中心に暖房するエアコンや、必要以上に洗いすぎない洗濯乾燥機、さらには自分で画面の明るさを調整して省エネするテレビまで、商品カテゴリーはますますひろがっています。

●ビルトイン食洗機では、商品によって「省エネナビ」の名称で、「AIエコナビ」と同一機能を搭載しています。

*45MC6Tは「汚れ」「食器量」の2センサーです。

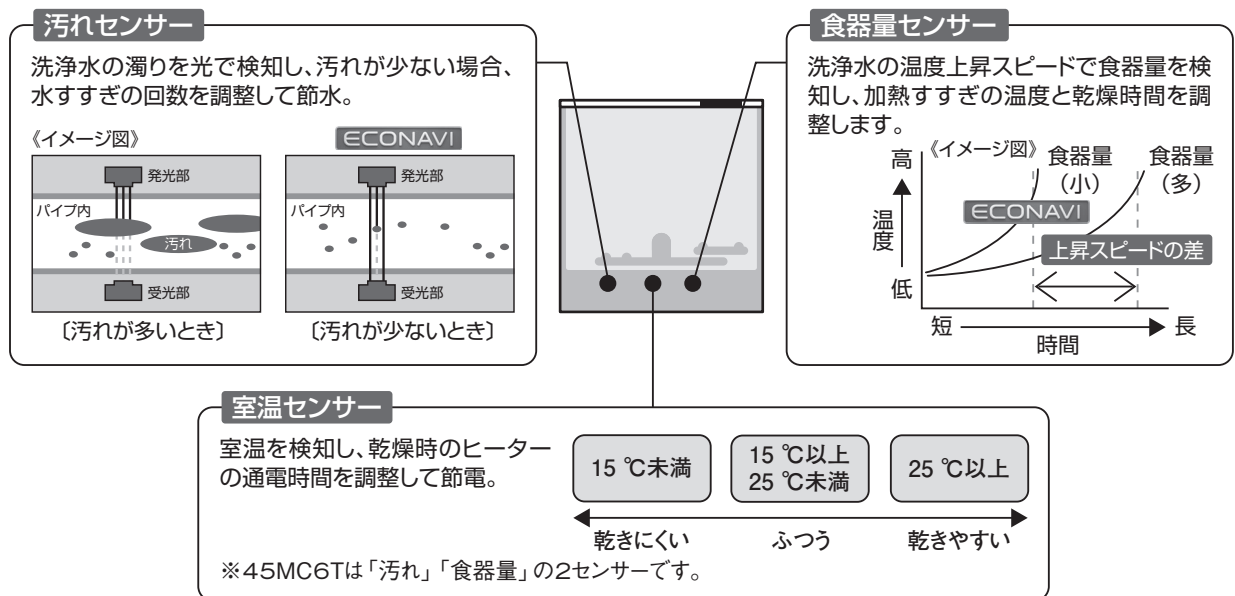
Q
29

どのようにして、節水・省エネ・時短ができるの？

A

「汚れセンサー」が〈多い／少ない〉、「食器量センサー」が〈多い／少ない〉の4センシング、さらに「室温センサー」が〈高い／標準／低い〉の3センシング、合わせて12通りの細かい制御をおこないます。庫内の状況に応じて、水すすぎの回数を減らしたり、加熱すすぎの温度を下げたり、乾燥時間を調整することで、標準コースに比べ自動的に、節水・省エネ・時短で運転します。

◆AIエコナビ(省エネナビ)の仕組み



Q
30

3センサーのメリットは？

A

- メリット1** 3つのセンサーの連携による、12パターンのセンシングでより細やかな制御が可能になりました。
- メリット2** 乾燥工程終了後の室温状況で、ドライキープの運転時間を自動的にコントロールします(オートドライキープ)。ドライキープ工程でも節電、時短が可能になりました。

■各種別搭載センサー

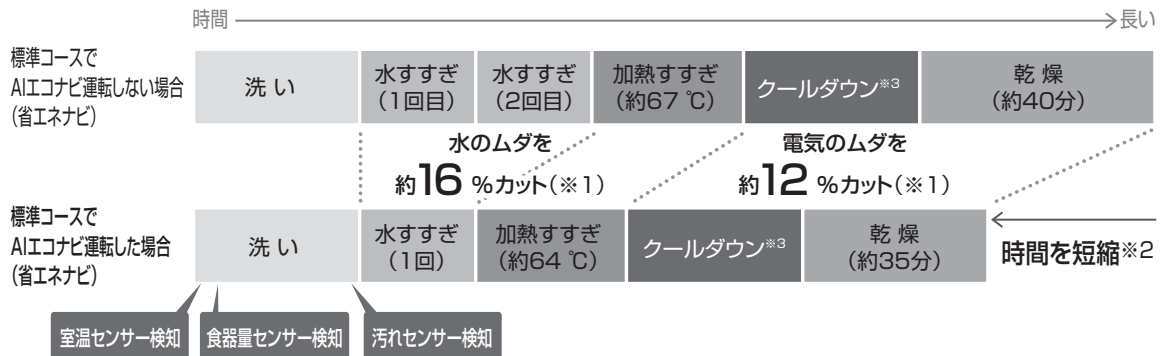
	汚れセンサー	食器量センサー	室温センサー	
NP-45KD9AP/ 45K9シリーズ	○	○	○	ECONAVI
NP-45MD9WP/MD9SP 45M9/60MS8シリーズ	○	○	○	ECONAVI
NP-45V9シリーズ	—	○	—	ライトエコ (1センサー)
NP-45MC6T	○	○	—	ECONAVI (2センサー)

Q
31

標準コースと比べるとどれだけ節水・省エネできるの？

A

庫内の状況に応じて、最大約16%の節水^{*1} & 約12%の節電^{*1}を実現。
時間は約16分^{*2}の短縮になります。(NP-45KD9Wの場合)



※1：NP-45KD9WでAIエコナビ運転した場合とAIエコナビ運転しない場合との比較。●AIエコナビ運転した場合：使用水量約7.5 L、消費電力量約0.42 kWh、運転時間約117分(50 Hz)/約112分(60 Hz) ●AIエコナビ運転しない場合：使用水量約9 L、消費電力量約0.48 kWh、運転時間約133分(50 Hz)/約128分(60 Hz) ●これらは最大値であり、食器の量や汚れによって効果は異なります。●日本電機工業会自主基準「食器洗い乾燥機の性能測定方法(2008年3月5日改正)」に基づき、給湯温度60℃で測定。AIエコナビ運転の食器点数と汚れの量については独自基準です。

※2：機種や給水の温度によって異なります。NP-45KD9Wは約16分の短縮になります。

※3：クールダウンはNP-45KD9AP/45K9シリーズだけの工程です。

Q
32

どの運転コースでも、AIエコナビ(省エネナビ)が働くの？

A

「標準」および「予約」コースを選択すれば、AIエコナビ(省エネナビ)が作動します。

「標準」コース以外(「強力」「スピーディ」「低温」)の各コースは、状況に応じてお客様に運転方法をお選びいただくもので、コースごとの機能設定を変えてしまうと、十分にそのコースでも機能を果たせなくなる可能性があります。「食洗機におまかせ」の「標準コース」であれば、セットの量や汚れ具合をお客様が考えなくても「AIエコナビ」が自動的に判断して運転することができます。

食器の汚れ、食器量が多い場合でもAIエコナビ(省エネナビ)運転することがあります。(例1)
また、食器量が少なくてもAIエコナビ(省エネナビ)運転しない場合もあります。(例2)

例1

食器の種類(軽い・小さいなど)や設置状態、室温、水温、水道水圧の変化によっては、AIエコナビ(省エネナビ)運転する場合があります。

例2

- カレーなど色付きの汚れが多い場合や設置状態、室温、水温、水道水圧の変化によっては、AIエコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。
- 運転中に「一時停止」ボタンを押したり、ドアを開けた場合、センサーの検知結果に影響し、AIエコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。
- 本体を給湯器に接続していると、AIエコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。給湯器の電源を切るとAIエコナビ(省エネナビ)運転を行います。
- 連続して運転を行うと、センサーの検知結果に影響し、AIエコナビ(省エネナビ)運転しない場合があります。

Q
33

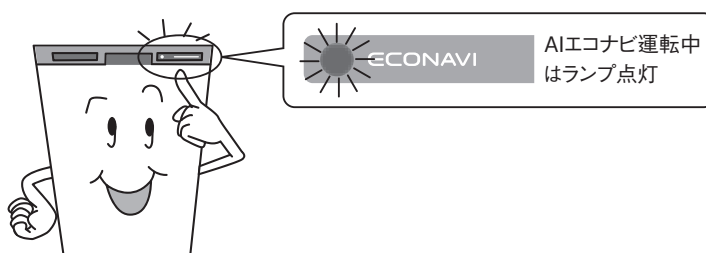
AIエコナビ(省エネナビ)が機能しているのはどこでわかる

A

前面表示部にあるAIエコナビ(省エネナビ)ランプの点灯状況で判断することができます。(NP-45M9/60M8シリーズ/NP-45MC6Tの場合)

洗浄工程の間、ランプは「点滅」。センサーがAIエコナビ(省エネナビ)検知中を表します。
すすぎ工程以降、ランプが「点灯」するとAIエコナビが機能していることを表します。

※NP-45K9シリーズはAIエコナビ(省エネナビ)表示が庫内上面操作部にあるため、確認することができません。



Q 34

なぜ、給湯接続だとAIエコナビ(省エネナビ)が働かないの？

A AIエコナビ(省エネナビ)は、食器量センサーが洗浄水の温度上昇スピードで食器量を検知しています。このため、最初から給湯接続の高温のお湯を供給すると、センサーが温度上昇を検知できず、AIエコナビ判定に影響する場合があります。

機器は45℃以下の場合のみ「食器量センサー」が作動するように設定されています。給湯接続される場合「AIエコナビ(省エネナビ)」機能をお使いになる場合は、必ず45℃以下になるように温度設定してください。

知っトク! 周辺情報

こんなご家族に、食洗機が、AIエコナビ(省エネナビ)が便利!

AIエコナビ(省エネナビ)機能搭載の食洗機は、それぞれ約5~7人の食器容量ですが、例えば、次のようなご家庭にもおすすめです。

①【少人数の家族だからこそ、エコナビ(省エネナビ)の出番!!】

● 共働きのご夫婦の 2人暮らし

- ・朝食と夕食、2食分の食器や調理器具もまとめて洗えて時短。
- ・AIエコナビ(省エネナビ)なら時間の経過やメニューによる汚れの違いにもかしこく対応。

● 小さなお子さんのいる 2~3人家族

- ・お子さんとのふれあいの時間と、衛生面の安心をもたらす食洗機。
- ・こまごまと食器点数が多いわりに、全体の食器量としては少なめ。また、しつこい油汚れなどは比較的少なくAIエコナビ(省エネナビ)が活躍。

● 中高年のご夫婦の 2人暮らし

- ・朝・昼食と夕食など、2回に分けて洗えば経済的。
- ・AIエコナビ(省エネナビ)なら、お二人の普段のあっさりメニューから、家族が集まった時のこってりメニューまで、かしこく洗い分け。

● 高齢のご夫婦の 2人暮らし

- ・家事負担を抑えつつ、衛生面にはいっそうの配慮をしたい世代にも食洗機はおすすめ。
- ・最適自動運転を行うAIエコナビ(省エネナビ)なら、操作も簡単。

②【家族が多くても、必ず標準コースとは限らない!?】

● 働き盛り・育ち盛りの4~6人家族

- ・洗いものが多く食洗機はもはや必需品。
- ・家族の食事時間のズレやおやつ・夜食などで少量の食器を頻繁にお使いになる時は、AIエコナビ(省エネナビ)が便利。

Q 35

「少量」「スピーディ」コースと比べて、どんなメリットがあるの？

A

運転コースの使い分けの判断がむずかしい場合でも、3つのセンサー(NP-45MC6Tは2つ)により、最適の運転方法を判断し、無駄なくきれいに洗い上げます。

例えば

- 食器の量は少なくても、カレーや脂っこい料理の汚れが多く付着している場合
- こってりしたメニューでも漬け置きや下洗いをしている汚れが少ない場合
- 食器の量が多くても汚れが少ない場合

「少量コース」は明らかに食器点数が少ない時(21点以下)、「スピーディコース」は下処理をして明らかに汚れが軽い時、というように一定の条件のもとに、洗浄時間や乾燥時間が設定されています。

運転コースの使い分けの判断が微妙な場合は「標準コース」をお選びいただくことをおすすめします。

知っつく！周辺情報

ちょっとした工夫でさらに省エネ、エコ！

食品のムダを
省く

- ◆一度に大量に買わず、適量の材料を買って、適量を調理。
- ◆大根の葉や皮など、捨てていたものが実は美味しいおかず！
- ◆ダシを取った後の昆布や鰹節を佃煮に。
- ◆残り野菜は浅漬けや、春巻きやコロッケなど上手に活用！

エネルギー使用量
を減らす

- ◆ガスの炎は鍋底のサイズに合わせて。
- ◆圧力鍋の活用や、保温調理で加熱時間を短く。
- ◆地元の食材を使う「地産地消」も、運搬にかかるエネルギーを削減。

水の節約、
排水の汚れを
防ぐ

- ◆野菜を洗ったザルなどは、他の洗い物と混ぜずに、サッと水ですすぐだけで済ませる。
- ◆新聞紙やいらぬ布などで、食器の残さいや汚れをふき取る。樹脂製などのヘラなら、水と一緒に使えて便利。
- ◆米のとぎ汁は植物への水やりに。節水にも役立ち、植物の栄養にもなる！
- ◆フライパンなどから食器に移す時、樹脂製などのヘラを使えばムダがなく、汚れも残らない。
- ◆できるだけ、食べてすぐに洗うか、つけ置きを。

ゴミの減量

- ◆簡易包装、環境に配慮した容器包装のものを買う。
- ◆生ゴミ処理機を活用する。
- ◆茶殻やコーヒー豆のカスを掃除や消臭に活用する。



カワイイかたちのヘラも市販されています。